



今月のご縁日



の行事予定

7/17 (金) 11:00~

出世観音供養会

しゅっせかんのんくようえ

出世観音様は、昭和9年の本堂復興再建に伴う境内整備の際、西南隅の土中より御尊首が発見されたことをきっかけにお祀りされた観音様です。その御尊首は足利時代末期のものと考えられています。古くより、芸能や学業、仕事など、それぞれの願いを胸に多くの方々がお参りされており、特に「世に出るご利益」の観音様として篤く信仰されています。年に一度の供養会となりますので、どうぞこの機会にご参拝いただき、観音様のご慈悲とご加護をお受けください。

当山山門脇にお祀りしております、出世観音様の供養会を執り行います。



講金 ¥2,000 也：寺務所にて受付中

7/20 (月) 11:00~

常香講

じょうこうこう

清浄を尊ばれる聖天様にとって、お香は空間を清め、心身を整える大切なお供えのひとつです。常香講では、皆様に内陣にて焼香をしていただき、聖天様へ祈りを捧げます。香を供え、敬いの心をもって手を合わせることは、聖天様とのご縁をより深め、日々のご加護へ感謝を捧げる大切な功德となることでしょう。また、お申込みの方には、心身を清める塗香をお授けいたします。

当山では、聖天様をご供養する際に最上級のお香を用いております。



講金 ¥2,000 也：寺務所にて受付中

朝まいり会

7月1日~7日 午前8時~8時半 会費:500円也

皆様と一緒に「大聖歡喜天礼拝作法」を読誦いたします。毎日お出でになれなくても1週間のうちで、ご都合のよろしい日にご参加ください。

写経の会

7月12日(日) 午前10時、午後1時 会費:500円也

お経を一字一文字丁寧に写すことにより仏様の功德をいただけます。

日曜勤行

7月12日(日) 午前9時 参加費:無料

初心の方も気軽に参加いただけるお勤めの会です。

合同大般若法要

7月25日(土) 午前11時 法要料:5,000円也

皆様と一緒に上げする御礼の法要です。

坐禅の会：定員45名

7月25日(土) 午前9時半~10時半 参加費:500円也

僧侶より説明を受けながら坐禅の修行を体験できます。足の悪い方は椅子でのご参加もできます。

ライブ配信のご案内

御縁日法要・合同大般若法要のライブ配信を行っております。



いちよう

2026年7月号

令和8年6月20日発行/No,403

発行所：待乳山 本龍院

〒111-0032 東京都台東区浅草7-4-1

☎ 03-3874-2030

「想像力」

副住職 杉本真海

密教の考え方では、私たちと聖天様は本来一体です。聖天様は宇宙の真理そのものである大日如来の現れであり、私たちがその同じ根源から生まれた命だからです。

しかし、煩惱にまみれて本質が見えなくなっている私たちが、いきなり「聖天様と本来一つである」という壮大な真理を実感するのは、とても難しいことです。

そこで、見えない真理に近づくための第一歩として、「想像力」が重要になります。

たとえば実際の密教の修法においては、「観想」というご本尊や仏様を具体的に想像する作法があります。もちろん一般的に「想像する」という範囲に収まるものではなく、修行を通じた深い集中と信心の上に成り立つ作法ですが、この「観想」は、皆さんの日々のお参りにおいても同様に実践できます。

大根をお供えするというのは、単純に供物を聖天様に捧げるという意味だけではありません。怒りをはじめとする自らの煩惱をその大根に預け、聖天様にきれいにさせていただく。そう心に思い描きながらお供えすることにより、より意義深いものとなります。

また、手水舎で手を洗うときには身心の汚れが流れ落ちることを、塗香を塗るときには清浄なお香で身が清められていくことを思い浮かべます。この「観想」の実践は空想でも気休めでもなく、神仏と繋がるための修行そのものです。

そうして日々の実践が深まり、ごく自然に聖天様と心が重なったとき、「聖天様と本来一体である」という真理を身をもって感じ取ることができるでしょう。

6月より、お供え用の大根のご用意が15時までとなっております。もし15時までの参拝に間に合わなかった場合は、ご自身で大根をご持参いただくか、大根をお供えせずにお参りいただくことになります。手ぶらでお参りするの少し寂しいと思われるかもしれませんが、見方を変えれば、高度な「観想」を実践するチャンスでもあります。密教の作法でも、足りない供物を「観想」で補いお供えすることもあります。心の中に大根を描き、そこに煩惱を預けることで、聖天様に通じる立派な供養になるでしょう。



皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。ご意見やご質問は ityou@matsuchiyama.jp までメールをお送りください。



「香湯加持会」

5月20日(水)、香湯加持会を執行いたしました。当日は多くのご信徒・ご参拝の皆様にご参加いただき、本堂内はもとより堂外にも列が続くほどの賑わいとなりました。法要終了後には、住職より香湯によるお加持が一人ひとりに丁寧に行われ、皆様が静かに手を合わせながらお加持を受けられておりました。



「畑中講」

5月31日(日)畑中講大般若法要を執り行いました。開催50回以上を超える伝統のある講中です。法要終了後信徒会館にて住職のご法話がございました。



境内整備のご報告

塀の瓦が剥がされ、順次解体が進んでおります。



長谷川家・要家 結婚式

5月24日(日)厳かな空気の中、当山ご信徒の長谷川様と新婦の貴子様のご前結婚式が平田真純戒師の下、執り行われました。晴れて尊天様照鑑の下、ご親族の方々に見守られながら夫婦として認められました。お二人が尊天様ご加護の下、幸せな家庭を築くことをお祈り申し上げます。

「信徒旅行」

5月30日(土)8時に本堂でお勤めの後に出発しました。10時半ごろ出流山満願寺に到着し、護摩祈祷に参加し御開帳中の本尊を拝観しました。その後昼食は、お寺近くのそば屋「いづるや」にて名物の出流そばを頂きました。昼食後、鏝阿寺に参拝、ご住職からお話を聞き、国指定重文「経堂」を拝観させて頂きました。充実した一日を過ごし、全員無事帰路につきました。ご参加いただいたご信徒の皆様おつかれさまでした。



「お盆というつながり」

水谷 洗祐



暑い盛りに、人々はなぜ先祖の霊を迎えるのでしょうか。お盆の起源は、仏教の「盂蘭盆会(うらぼんえ)」にさかのぼります。一説には、お釈迦さまの弟子・目連尊者が、

亡き母の苦しみを救うため、僧侶たちが供養を捧げたという故事がその根底にあります。

本龍院は檀家を持たず、聖天さまへのご祈願を中心とする現世利益の寺院です。先祖供養とは一線を画しますが、お盆というこの季節に、ひとつ立ち止まって考えてみたいことがあります。

今ここに生きている自分は、先祖あってのことです。先祖が一人でも欠けていたならば、現在の自分は存在しないことになります。私たちは、目には見えない無数の命のつながりの上に生かされています。聖天さまに手を合わせ、ご利益をいただけるのも、この命があってこそです。お盆は、そうした「見えないつながり」にふと気づかせてくれる季節です。ご先祖さまへの感謝、そして今を生きることへの感謝——その静かな気づきを胸に、聖天さまの御前でも、どうぞ手を合わせてみてください。

「お宮参り・七五三」

御宝前にて行者様より無病息災のお加持を授かりました。尊天様のご加護を受け、健やかに成長されることをお祈りしております。



5月4日(月)村田愛菜ちゃん



5/18(月)大越菜瑚ちゃん



5月26日(火)、山口曜くん(五歳)・つきちゃん(三歳)

ご祈祷のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。当山ではこの浴油祈祷を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈祷期間をお伝え下さい。またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

祈祷料

別座祈祷 壹万二千元(一週間)
浴油祈祷 四千元(一週間)
華水供 六百元(一日)

法要案内

当山では予約にて法要を行っております。寺務所にてお問い合わせください。
百味供養 法要料 八万円
沢山のお供物をお供えし、出仕の僧侶が声明をお唱えすることで、尊天さまに御礼の供養をいたします。
大般若法要 法要料 五万円
所願成就御礼の法要として、大般若経六百巻を転読いたします。
自動車加持 法要料 壹万円
当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください。

